



令和3年11月12日

中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所
<https://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/index.php>

天ダム工事安全協議会パワーアシストスーツ体験会開催！ ～安全管理体制及び生産性向上を目指して～

1. 概 要

天竜川ダム統合管理事務所では、工事安全協議会として、関連業者を対象としたパワーアシストスーツ体験会を開催します。

建設現場における安全管理体制及び生産性向上のため、国土交通省としてDX（建設のデジタル化）を勧めています。実際に体験できる機会を設けることで、南信地区でのパワーアシストスーツの普及に寄与します。

- | | | | |
|------------|---|----------------------------------|--------------------|
| 1. 日 | 時 | 令和3年11月18日（木） | 9時00分～16時40分（小雨決行） |
| 2. 場 | 所 | 宮下建設工業(株)工場（長野県上伊那郡中川村葛島地先（別紙1）） | |
| 3. 参 加 人 数 | 約50名 | | |
| 4. 内 容 | （詳細は別紙2、3のとおり） | | |
| | 各時間帯毎8名の方が4つのブース（土工・石工・鉄筋工・足場）に分かれて
パワーアシストスーツを装着し、作業への効果を体感してもらいます。 | | |
| | (1) 1部 | | 9:00～10:20 |
| | (2) 2部 | | 10:20～11:40 |
| | | 休憩 | |
| | (3) 3部 | | 12:40～14:00 |
| | (4) 4部 | | 14:00～15:20 |
| | (5) 5部 | | 15:20～16:40 |

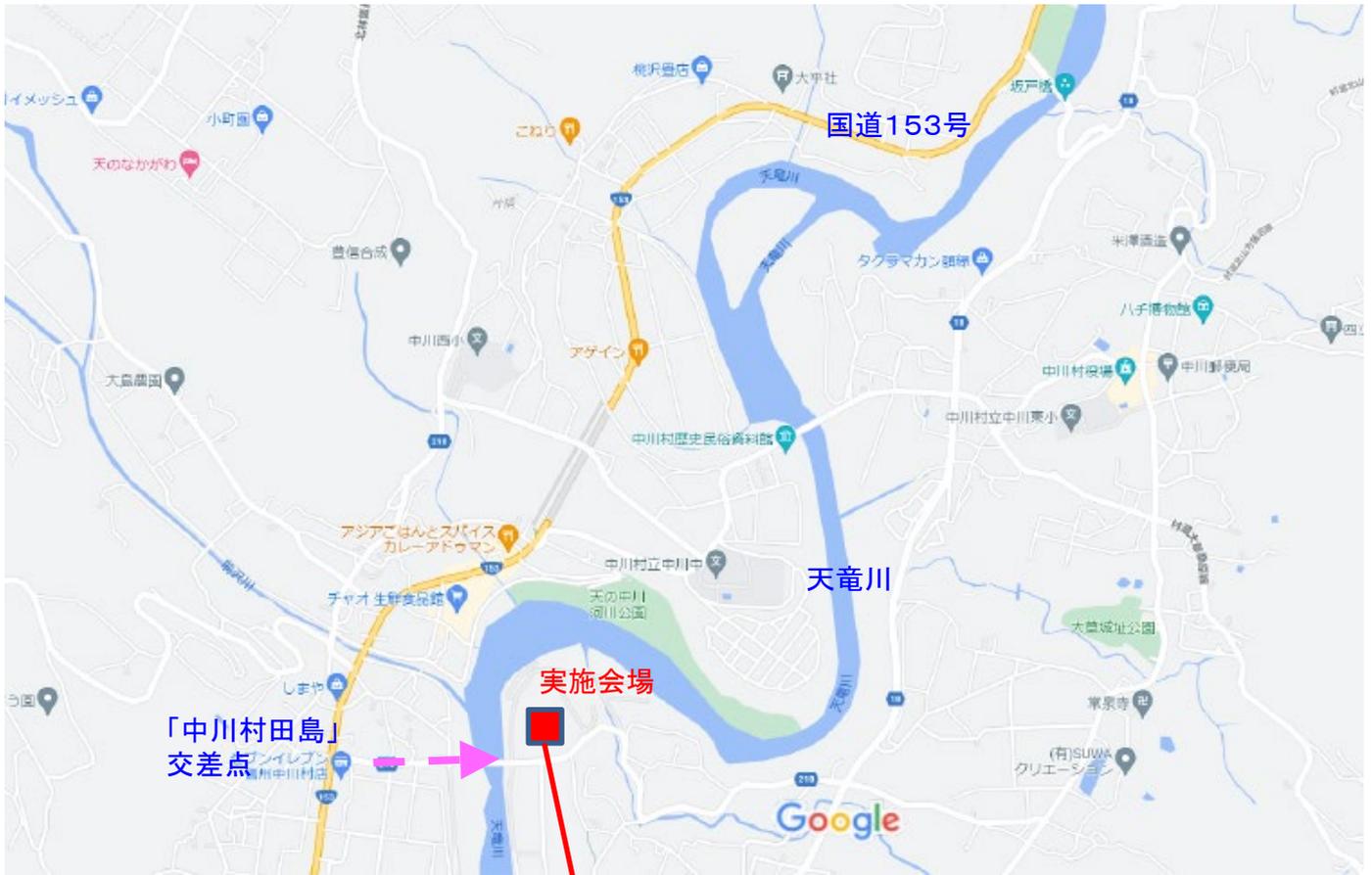
配 布 先

飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ

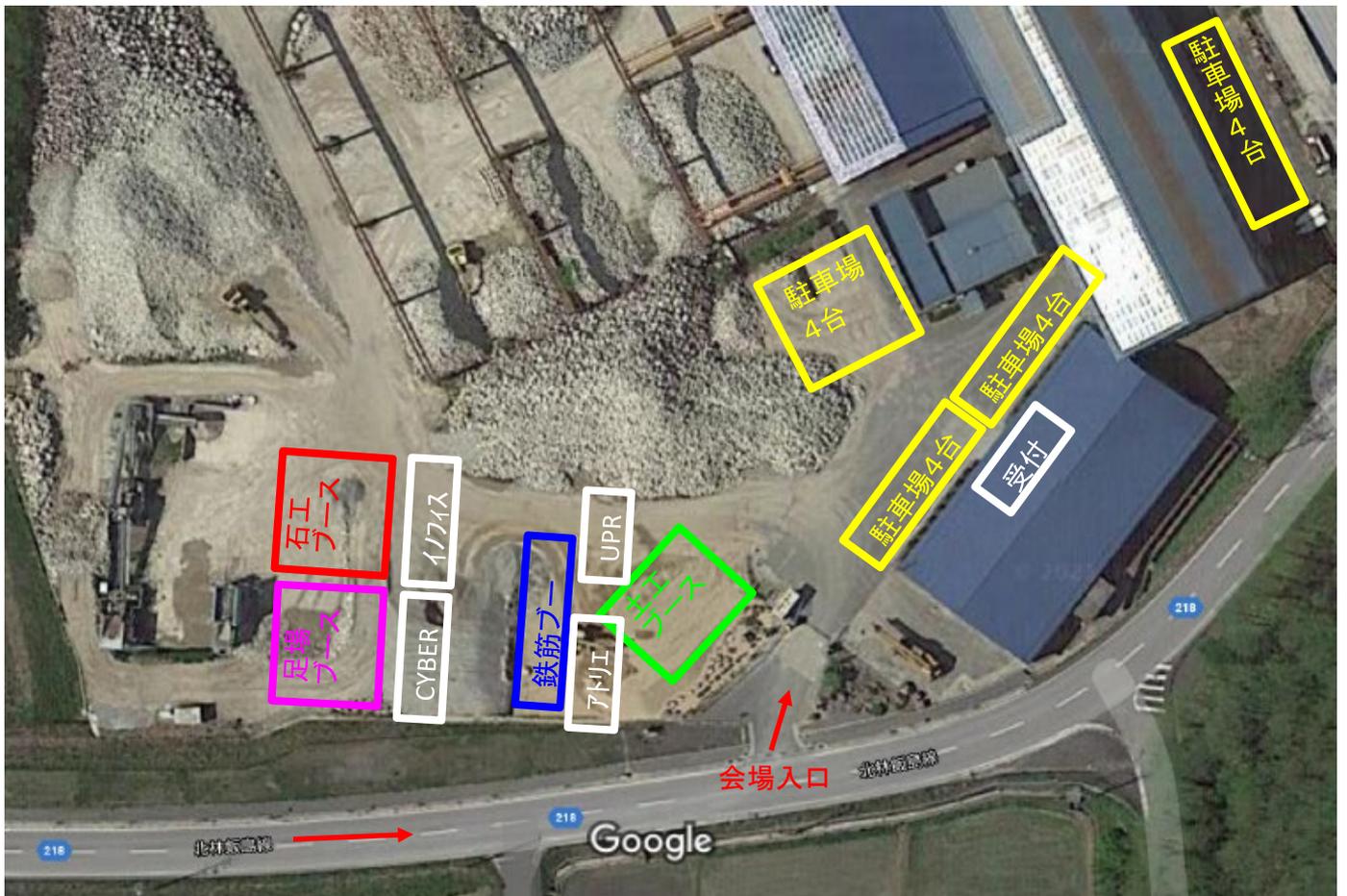
問 い 合 わ せ 先

天竜川ダム統合管理事務所 保全対策官 瀬島英旗 TEL：0265-88-3859

アクセス図



平面図





パワーアシストスーツ体験会開催！

～安全対策および生産性向上をめざして～

天竜川ダム統合管理事務所

目的

パワーアシストスーツによるパワーアシストの研究は1960年代からおもに産業用のパワーアシストシステムとして研究が進められてきました。

近年、造船、農業、物流等では活用事例が増加しており、建設施工の分野にも応用可能な技術がありますが、その活用効果が明確でなく普及には至っていません。

建設産業の労働者の高齢化の問題が依然としてあるなか、パワーアシストスーツによる人力作業の負担軽減および生産性向上を目的として、実際に施工を体感のうえ、有効活用できる作業場面のご提案をいただき、南信地区での導入を図ります。

1. 石工、土工、鉄筋工等、中腰で重量物を保持する作業で効果を体験する。
2. フルハーネス、腰袋等の標準装備を装備した状態での装着感や重量、狭所や高所での移動時の不具合を許容できるか体感する。

作業内容

1. 石工

- 1) 30kgの玉石を持ち上げ→1m横へ移動、下ろし、転がして戻す。
- 2) 45kgの玉石を持ち上げ→1m横へ移動、下ろし、転がして戻す。

2. 土工

- 1) 班間隔を3m空け、袋を押さえる人と土砂を投入する人に別れ、土のうを3袋作る。

3. 鉄筋工

- 1) スーツの足バンドを装着した状態で鉄筋を持ち上げ、高さ30cmの位置で1分保持してから降ろす。
- 2) スーツの足バンドを外した状態で鉄筋を持ち上げ、高さ30cmの位置で1分保持してから降ろす。

4. 足場

- 1) フルハーネス安全帯、腰袋を装備し、足場の階段を3段目まで2往復昇降する。

パワーアシストスーツ参考写真

